



2019年12月号 セゾン投信 月次運用レポート

長期投資家の皆さまへ

米国株式市場は11月に複数回にわたり史上最高値を更新し、上昇基調です。米国市場における楽観は世界全体に波及して、欧州株式市場も総じて最高値水準に、日本でも年初来高値を抜いて強含み環境が続いています。

こうした株高を後押しするのは、米連邦準備制度理事会(FRB)の金利引き下げへの政策転換により、日欧を含めた先進各国が呼応するかのように超低金利を維持することによって、实体经济のみならず市場も支えられることへの期待であり、「適温相場」の再来と言えましょう。

新興国も含めた世界の株式市場全体でも、約2年ぶりの最高値圏にある一方で、債券市場はマイナス利回りが広がっているということは、先行きの経済見通しに市場間の大きな温度差があるということ。世界全体は減速傾向にあることは変わりなく、米中貿易交渉も予断を許さない中で、マーケットはいきなり調整局面へと逆回転する可能性を孕んでいると意識しておくべきです。

「セゾン号」は2つのファンド共に設定来最高値で11月を終えています。即ちこの時点では、途中で売却を行っていない乗客すべての方の運用損益がプラスになっているということであり、長期間コツコツと積立投資を継続下さっている方はとりわけ資産が成長していることでしょう。こうした状況下で、まもなく市場が下落に転じることを恐れ、利益確定とばかり長期投資をやめてしまう方が増えてくる傾向がありますが、上昇下落を問わず目の相場動向に左右されて、将来に向けた資産形成を目的とした長期運用を断絶させてしまうことは、目指すゴールから逸脱した投資行動となって、得べかりし果実をいたずらに損なう結果となるであろうことは過去の歴史から学ぶべきです。

長期投資家としての胆力が問われるこうした状況下でこそ、しっかりと継続することの大切さを皆さまと共有しながら、「セゾン号」は注意深く進んでまいります！

代表取締役社長 中野 晴啓

ご留意事項

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。投資信託に係るリスクや費用等は、それぞれの投資信託により異なります。投資元本の保証はありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

委託会社:セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第349号

加入協会:一般社団法人 投資信託協会

<https://www.saison-am.co.jp/>

お客さま窓口:03-3988-8668 営業時間 9:00~17:00(土日祝日、年末年始を除く)

セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド

11月の市場動向

株式

景気の先行きに対する悲観的な見方が後退したほか、米国と中国の貿易交渉が進展することへの期待が維持され上昇

世界的に金融緩和の長期化観測が強まるなかで、米国を中心に景気が大きく落ち込むことはないとの見方が広がったほか、米国政府と中国政府が互いに現実的な妥協点を見だして、貿易交渉が進展することへの期待が維持され、安心感が広がって上昇しました。

債券

金融緩和の長期化観測は強まっているものの、景気の先行きに対する悲観的な見方が後退して軟調な展開

米国で当面の間、政策金利の引き上げが行われない見通しとなり、世界的に金融緩和が長期化すると見方が強まっているものの、米国と中国の貿易交渉が進展することへの期待が維持されたほか、景気の先行きに対する悲観的な見方が後退して軟調な展開となりました。

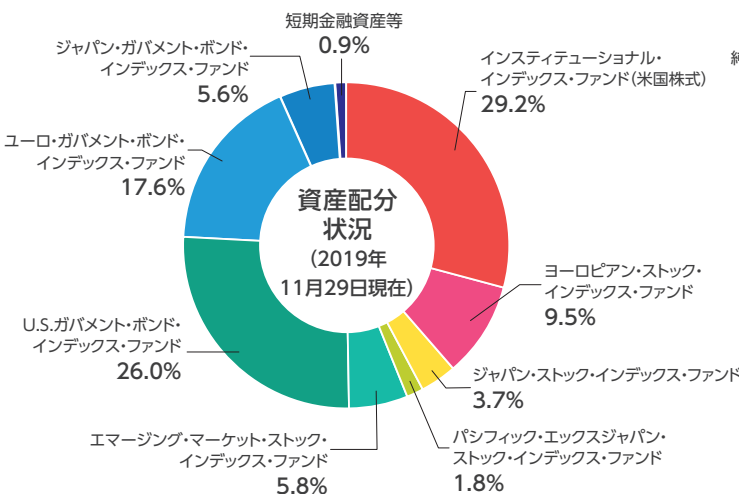
為替

先行きへの見方の違いを背景にドルが堅調となる一方でユーロが下落。円も下落し、対ドルで円安、対ユーロでほぼ変わらず

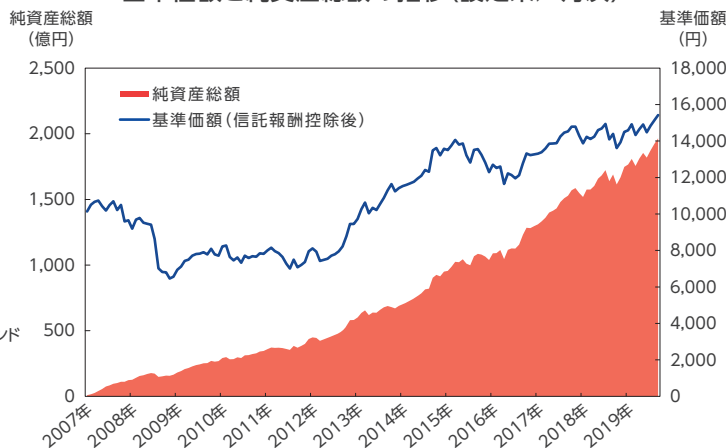
米国の景気が底堅く推移すると見方が強まっていることを背景にドルが堅調に推移する一方、域内景気の先行きへの懸念が高まっているユーロが下落しました。円は、景気の先行きに対する懸念が和らぎ、リスクを選好する動きが継続するなかで、下落しました。

基準価額と純資産総額及び騰落率(2019年11月29日現在)

基準価額	純資産総額	設定来騰落率	過去1ヶ月の騰落率	過去6ヶ月の騰落率	過去1年間の騰落率
15,423円	1965.2億円	54.23%	1.88%	7.57%	7.13%



基準価額と純資産総額の推移(設定来/月次)



11月の運用状況

今月の投資スタンス

今月は、株式・債券比率のリバランスを目的として株式ファンドの売却と債券ファンドの購入を行ったほか、定期積立プランなどのご購入により、皆さまからお預かりした資金を利用して、定められた投資比率に従って、債券ファンドの購入を行いました。

ファンドマネジャーからの一言

今月は、投資先ファンドが欧州債券に投資するものを除いて上昇し、基準価額の上昇要因となりました。為替は、当ファンドの評価時点では、対ドルで円安、対ユーロで円高となり、基準価額の上昇要因となりました。結果、当ファンドの基準価額は上昇しました。

当ファンドでは引き続き、将来への予測に依存することなく幅広く投資を行うことでリスクを分散しながら、皆さまの長期的な資産形成に資することができるよう努めて参ります。

運用部長 瀬下 哲雄

※変動要因については、右側の図1、図2もご参照ください。
※ファンドの基準価額は原則として2営業日前の株式・債券市場の終値を反映しています。

図1 11月度の投資先ファンド価格の変動による影響

※月末の投資比率に基づく概算値/投資先ファンド通貨建て

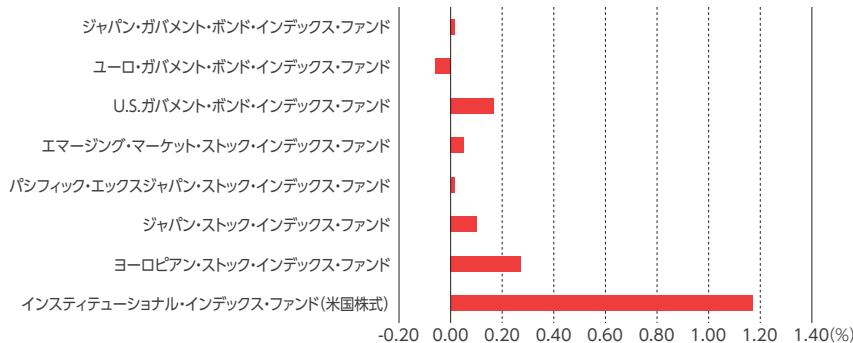
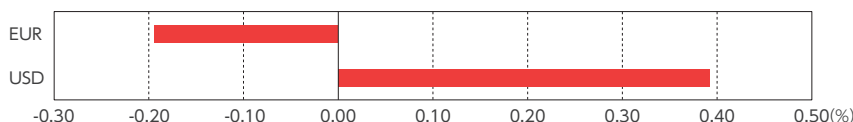


図2 11月度の為替変動による影響 ※月末の投資比率に基づく概算値



※詳細はセゾン投信HPに掲載しております「運用レポート(詳細版)」をご覧ください。

当ファンドに係るリスクについて

◆基準価額の変動要因

当社の運用、販売するファンド(以下、当ファンド)はファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としております。一般に、株式の価格は、個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は、市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受けます。〔「価格変動リスク」〕また、当ファンドは、実質的に外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受けます。〔「為替変動リスク」〕その他の当ファンドにおける基準価額の変動要因としては、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。したがって、投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により投資元本を割り込むことがあります。運用による損益は、すべてお客さまに帰属します。当ファンドは預貯金とは異なり、投資元本が保証されているものではなく、一定の投資成果を保証するものではありません。

◆その他のご留意点

当ファンドは、預金や保険契約と異なり、預金保険機構、貯金保険機構、および保険契約者保護機構の保護対象ではありません。加えて証券会社を通じて購入していない場合には、投資者保護基金の対象となりません。投資信託の設定・運用は委託会社がおこないます。

当ファンドに係る費用について

◆投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料:ありません。
- 信託財産留保額:換金申込受付日の翌々営業日の基準価額に0.1%の率を乗じた額が控除されます。

◆投資者が信託財産で間接的に負担する費用

○運用管理費用:ファンドの日々の純資産総額に年0.506%(税抜0.46%)の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的にお客さまにご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年0.61%±0.02%(税込/概算)となります。

※ファンドの規模に応じて変動する場合があります。

○その他費用:信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用(有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む)、監査報酬(消費税含む)、立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことができません。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

[Vanguard](日本語での「バンガード」を含む。)および「tall ship logo」商標は、The Vanguard Group, Inc. が有し、セゾン投信株式会社および承認された販売会社にのみ使用許諾されたものです。また「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」は、The Vanguard Group, Inc. および Vanguard Investments Japan, Ltd. より提供、保証又は販売されるものではなく、また投資に関する助言を受けていることを表すものでもありません。従って、The Vanguard Group, Inc. および Vanguard Investments Japan, Ltd. は当ファンド・オブ・ファンズの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

委託会社：セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第349号
加入協会：一般社団法人 投資信託協会

<https://www.saison-am.co.jp/>
お客さま窓口：03-3988-8668 営業時間 9：00～17：00 (土日祝日、年末年始を除く)